



## ●2日目の朝、寝不足の人たち

カンクンでの2日目は7時30分の朝ごはんから始まりました。とはいっても、食堂に集まったのは、マさんと丸山のみです。呉地さんは15分ほど遅れてやってきました。今日のサイドイベントの準備で、数時間しか寝られなかったそうです。11時30分頃に合流しますと言いつつ、朝食も食わずに部屋に戻って行かれました。安藤さんは8時過ぎに起きてこられました。昨日の夜は遅くまで寝られなかったそうです。

昨日の二の舞にならないよう、マさんがシャトルバスの時間をわざわざ向かいのホテルまで行ってチェックしましたが、今日以降のバスのスケジュールはホテルに情報がないと言われました。とりあえず昨日の時刻表では9時15分発のバスがあったので、今日もあるだろうとの推測の下、8時50分にロビーに集合しました。

## ●ちょっと強引にバスに乗車する人たち

8時45分頃、ロビーに行き、そういえば登録の時にバスの情報のウェブサイトが書かれた紙を渡されたことを思い出し、パソコンでチェックします。バスの時間は8時50分、次のバスは10時45分となっています。

バスが遅れて到着すれば間に合うかも、とマさんはホテルを飛び出し、向かいのホテルまで走ります。ホテルの前にバスが停まっているのが見えますが、交通量の多い道を渡っている間にバスが発射してしまいました。マさん、車のスピードが落ちたところで、運転席側の窓を叩いて車を止めます。マさんの活躍のおかげで、なんとか、3人バスに乗り込みましたが、車内は満席です。私と安藤さんは2人掛けのシートに3人で座り、マさんとスタッフの一人は立って乗車することになりました。明日以降は、もっと大きなバスを用意してくれるそうです。

## ●荷物どこ？ 倉庫はどこ？ 担当者はどこ？

今日の午前中は、昨日できなかった展示の作業ですが、まだFEDEXの人が来ていません。インフォメーションに尋ねると、FEDEXのことはわからない、と言われます。待てども待てどもカウンターには人が来ません。電話番号を調べて、FEDEXに直接問い合わせることにしましたが、電話は自動音声につながります。再度インフォメーションに行って、FEDEXにスペイン語で問い合わせてもらおうことにしました。

そうこうしているうちにようやくFEDEXカウンター

にスタッフの姿が。荷物を取りに来たと言うと、ここにはない、建物の外に倉庫があるのでそこに行ってくださいと言われます。

ホテルのスタッフに倉庫の場所を尋ねても、誰も知らないと言います。もう一度FEDEXのカウンターに戻り、今度はFEDEXのスタッフと一緒に外に倉庫を探しに行きます。さっき倉庫探しに付き合ってくれたスタッフがもう一度、倉庫探しを手伝ってくれ、とある扉から外に出て、倉庫にたどり着きます。こんな場所、どうやったってたどり着けるわけがありません。

スタッフの人が、FEDEXの荷物の場所を、尋ねてくれますが、誰も知らないと言います。そのうち一人の女性のホテルのスタッフが来て、「アリーナのFEDEXカウンターに行って」と言われます。振り出しに戻る、です。

さすがに、私たちだけで行ってもしょうがないので女性スタッフと一緒にFEDEXのカウンターに行ってもらいます。FEDEXのカウンターでは、俺は知らない、私は知らない、の応酬です。そのうち、会議のスタッフが数人現れ、スペイン語でしばらくやりとりした後、トランシーバーを持ったペドロさんという会議のスタッフがやってきました。荷物の受け取りのサインをしていた人です。ようやく、ようやく、荷物の受け取りができました。会議のインフォに聞いても知らない、FEDEXのカウンターに聞いても知らない、で、一体どうやったら、ペドロさんとこの荷物にたどり着くのでしょうか、全く疑問です。

ようやく、展示の準備を始めますが、もう時間はすでに1時で、呉地さんの出番が始まります。しかたがないので、私が展示を受け持ち、安藤さんにサイドイベントをお願いすることになりました。



(午前の部レポート：丸山明子)

## ●呉地さんが田んぼ10年のプレゼン

メキシコ大統領が会議に出席されるというので、その間すべての行事はストップしなければならないという決まりがあるらしく、昨日からUNDB-DAY担当者はプログラム調整に追われていました。ところが来場の時間が変更され、もう対応不可能なので、そのまま続けることに。

UNDB-DAYの午前の部はFEDEXの荷物探しに追われていてパス。展示作業を丸山さんとマさんをお願いして、呉地さんとCEPA FAIR会場に駆けつけました。小山市・大崎市・JA全農・コープネット事業連合などからの協賛資料をどっさり展示・配布し、呉地さんのプレゼンがスタート。たった10分の発表時間では田んぼ10年プロジェクトは語り切れない！しかし呉地さんは大量のインフォメーションを立派に伝えてくれました、拍手！！

このセッションではユースや企業の発表もあり、2020年以降の活動についての質疑応答がありました。ハイレベルの参加するセッションには、関環境副大臣も出席されましたが、夕方のパーティー準備でまたもや出られず残念でした。



## ●パーティーで日本の味をPR

パーティーには、JA全農・コープネット事業連合・大崎市・豊岡市・小山市などの協力により、日本酒・日本茶・海苔などを並べて、皆さんに味わっていただきました。計画していたおにぎりについては、残念ながら今回はメキシコ政府から米の持ち込みに関する特別な許可をいただく所までたどり着けず、断念せざるを得ませんでした。会場にはお米の袋・🍱の描かれたチラシ・英文資料などを展示し、中身はきちんと伝えることができました。



特に大好評だったのが日本酒です。環境副大臣や外国からの人々も会議続きの疲れをしばし忘れることができたと思います。アレフのお二人のダンスも披露され、楽しく美味しいクロージングタイムでした。次の機会にはぜひおにぎりも参加させたいと思います。『農業の生物多様性の主流化は味わってダンスして達成！！』



メキシコの現地スタッフのフレンドリーさと親切さについては次の報告に書きます。残った日本酒を彼らに差し上げたところ、大変うれしそうに受け取ってくれました。きっとメキシコに日本酒ファンが増えると思います。メキシコとの農産物（肉だけではなく）のやりとりを増やすよう、日本政府が働きかけることで、メキシコでおいしいおにぎりも食べられるようになると思います。

なお、UNDB-DAYの様子についてはにじゅうまるプロジェクトのHPをご覧ください。



(午前の部レポート：安藤よしの)